

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●
● 本誌の内容を、許可なく無断で複製・転載することを禁じます●

5月22日、紙パルプ会館フェニックスホールにて、6年目を迎える銀座街づくり会議の報告会が開催されました。全銀座会

係者を中心に、中央区の方や他の街からも多くの方々に関心をお寄せいただき、約120名の方が会場を埋めました。

「銀座街づくり会議」:: 報告会



協議型街づくりとこれからの課題



2008年度活動報告

最初に、設立以来、銀座街づくり会議の評議会議長を務める遠藤彬さんから挨拶がありました。遠藤さんは、5月22日をもって銀座通連合会理事長を退任されたばかりです。次に、専門家として銀座街づくり会議のアドバイザーをしてくださっている小林博人さん（慶応義塾大学准教授・建築家）と、蓑原敬さん（蓑原都市計画事務所・都市プランナー）から「協議型街づくりとこれからの課題」として報告がありました。

まず、小林博人さんから2008年度活動報告として、ホームページのリニューアル、3回のシンポジウムの開催、銀座の駐車場方式調査研究が行われたこと。また、銀座デザイン協議会の運営報告がありました。銀座デザイン協議会では、2007年に74件、2008年に78件の申請を受け付け、対応しています。今後の課題として、①協議対象について、街並みや環境に実際に影響を与えるものを網羅しているかどうか ②手続き上の課題 ③銀座独自の広告物ルールの策定（光・音・映像等）などが挙げられました。銀座街づくり会議では、今年度、よりスムーズな協議のための情報を拡充したり、通りやエリアごとの特徴をさらに充実させ、「銀座デザインルール」を詳細化していく予定です。

附置義務駐車場の改善可能性

続いて、慶応義塾大学小林博人研究室で行われた「銀座における附置義務駐車場の改善可能性」研究の概要が報告されました。銀座には、通りのにぎわいの連続性が失われることのないよう、銀独自の駐車場ルールがあります（2003年施行）。しかし荷捌きと身障者用駐車場の附置義務が、商業活動への負荷となっている部分もあります。この研究は、現状の使われ方を調査し、既存の駐車施設を改善し、商業活動に寄与する附置義務駐車場のあり方を提案しようとするものです。

調査によれば、現在、昭和通りから西側に駐車施設は171軒。そのうち、集約駐車場は15軒。参加型の隔地駐車場は4軒です。それらを分類し、さらに、荷捌きと身障者対応などの使われ方を調査しました。その結果、

荷捌きの頻度は「ほぼ毎日」が61%。1日の荷捌き台数は「6~10台くらい」が最も多く、荷捌きの時間帯は、搬入は午前中に集中し、搬出は1日まんべんなく行われていること。一度の駐車時間は20分~40分程度。そして約87%は、同じ人が搬出入を行っていることなどがわかってきました。この結果から、たとえば共同荷捌き駐車場を設け、そこから台車で運ぶ方法や、時間を集中させようとして、路上のタイムパーキングシステムを利用して荷捌きに使用する方法などが提案されました。身障者対応については、バリアフリー駐車場が1/4しかないこと。しかし、その使用頻度については「ほぼなし」が100%という結果が出てきました。これらを含め、「おもてなしの充実」をキーワードに、銀座らしいサービスをはかることで、空間をうまく使えるのではないか、といった提案がなされました。

銀座から文化発信を

蓑原敬さんからは、現在進行中の大規模開発案件のうち、三越、歌舞伎座、松坂屋の3件について銀座がどのように協議しているのか、その考え方についてご説明がありました。銀座では、大規模プロジェクトを、民間の活力をフルに生かし、なおかつ街全体の質が確実に向上されるよう、街と開発者と中央区が協議しながらすすめており、このような官民提携型プロセスは、日本では非常にめずらしいということです。今後、例外的に高さ規制が緩和される「文化等に寄与・貢献する大規模施設」を旧木挽町地区にどうつくっていくかが課題となってきます。世界的に見て東京は、美術館、劇場などの文化的施設を観光目的にする旅行者が非常に少ないが、歌舞伎座や演舞場がある銀座だからこそ、そういった文化発信ができるはずで、ギャラリーなどを含めた街としての文化戦略が必要であろう、ということが強調されました。

最後に、新銀座通連合会理事長である小坂俊幸さんから「銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会からダイレクトに入って来る情報から多くの課題も見出されるが、専門家の先生にご助言いただきながら、銀座をより魅力的な街にしていきたい」と、挨拶がありました。